

無題

哀しみもなく
怒りもなく
喜びもなく
何もない——答

その一方で
無数の哀しみや
怒りや歎びが
一方的に流れ込んでくる

それらは僕の胸の中で発酵し
鎮まっていた恐怖を合成し
あたかも自分のものであるかのように
僕を不安に駆り立てる

彼らは無意識に確認しているのだ
自分より哀れな境遇を
自分の優越性を
見下すことのできる相手を

そうやって僕は
毎日のように傷を負い続け
PTSDさながらに・・・
塵も積もれば、というわけだ

LEDが点滅する度に
心臓が締め付けられる・・・
だから僕も
同じように確認し、探し続ける

ずらずらと流れる文字
食いつけるものはどいつだ
いや、それより
僕自身の感情を食わせてみたい

(来た、こいつだ)

(2013.3.10)